

調査のあらまし

1 調査の目的

県民の行政一般についての意識やさまざまな施策についての意見・要望を明らかにすることにより、今後の県政運営のための基礎資料とする。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 広島県全域
- (2) 調査対象 県内在住の満20歳以上の県民
- (3) 標本数 2,000
 - 広島地方生活圏 1,000
 - 備後地方生活圏 600
 - 備北地方生活圏 400
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 自記式郵送調査法（郵送による調査票の配布と回収）、督促状2回発送
- (6) 調査時期 平成20年7月25日～8月18日
- (7) 調査機関 もみじコンサルティング株式会社

3 回収結果

区分	標本数	有効回収数	有効回収率
広島地方生活圏	1,000	694	69.4%
備後地方生活圏	600	381	63.5%
備北地方生活圏	400	272	68.0%
計	2,000	1,347	67.4%

サンプル設計

- 1 母集団 広島県内の市町に居住する満20歳以上の県民
- 2 標本数 2,000
- 3 地点数 市部 91地点
町部 9地点 計 100地点
- 4 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (1) 層化 広島、備後、備北の3生活圏それぞれについて、市町の規模により4グループ(人口10万人以上、10万人未満、1万人以上、1万人未満)に分類し、層とした。
※母集団は、平成19年3月末日現在の各市町の住民基本台帳を基に推計したもの。
- (2) 標本数の配分 3生活圏それぞれに与えられた標本数(広島1,000、備後600、備北400)を、生活圏別に層化した各グループの規模の大きさにより比例配分した。
- (3) 抽出
- ア 第1次抽出単位となる調査地点は、平成17年国勢調査時に設定された調査区(国勢調査区)を使用した。
 - イ 調査地点数は、1調査地点あたりの標本数が20になるよう、各層に割り当てられた標本数から算出し市町別に決定した。
 - ウ 調査地点の抽出は、抽出地点数が2地点以上割り当てられた市町については、次の式により抽出間隔を算出し、等間隔抽出法で抽出した。
- $$\left[\frac{\text{市町における国勢調査区分数}}{\text{市町における調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right]$$
- エ 抽出に際して、各層内における市町の配列順序は、平成17年国勢調査時における「市町村コード一覧」の配列順序に従った。
 - オ 抽出調査地点における対象者の抽出は、調査地点(町・丁目・街区・番地等を指定)内から、選挙人名簿により等間隔抽出法で抽出した。
 - カ 以上の作業の結果得られた生活圏別の標本数調査地点数は次のとおりである。

生活圏	市町規模	人口10万人以上の市	人口10万人未満の市	人口1万人以上の町	人口1万人未満の町	計
	広島地方生活圏	推定母集団数	1,359,384	103,114	111,796	15,029
標本数		780	80	100	40	1,000
調査地点数		39	4	5	2	50
備後地方生活圏	推定母集団数	583,462	37,862	26,174	0	647,498
	標本数	520	40	40	0	600
	調査地点数	26	2	2	0	30
備北地方生活圏	推定母集団数	0	84,958	0	0	84,958
	標本数	0	400	0	0	400
	調査地点数	0	20	0	0	20
計	推定母集団数	1,942,846	225,934	137,970	15,029	2,321,779
	標本数	1,300	520	140	40	2,000
	調査地点数	65	26	7	2	100

人口10万人以上の市 ……(広島)広島市、呉市、東広島市、廿日市市 (備後)三原市、尾道市、福山市
 人口10万人未満の市 ……(広島)竹原市、大竹市、安芸高田市、江田島市 (備後)府中市 (備北)三次市、庄原市
 人口1万人以上の町 ……(広島)府中町、海田町、熊野町、坂町、北広島町 (備後)世羅町、神石高原町
 人口1万人未満の町 ……(広島)安芸太田町、大崎上島町

抽出調査地点数一覧

生活圏	抽出調査地点	標本数	生活圏	抽出調査地点	標本数
広島地方生活圏	広島市中区 (3地点)	60	備後地方生活圏	三原市 (4地点)	80
	広島市東区 (3地点)	60		尾道市 (6地点)	120
	広島市南区 (3地点)	60		福山市 (16地点)	320
	広島市西区 (4地点)	80		府中市 (2地点)	40
	安佐南区 (5地点)	100		世羅郡世羅町 (1地点)	20
	安佐北区 (3地点)	60		神石郡神石高原町 (1地点)	20
	安芸区 (2地点)	40			
	佐伯区 (3地点)	60			
	小計 (26地点)	520		計 (30地点)	600
	呉市 (6地点)	120		備北地方生活圏	三次市 (11地点)
	竹原市 (1地点)	20	庄原市 (9地点)		180
	大竹市 (1地点)	20			
	東広島市 (4地点)	80			
	廿日市市 (3地点)	60			
	安芸高田市 (1地点)	20			
	江田島市 (1地点)	20			
	安芸郡府中町 (1地点)	20			
	安芸郡海田町 (1地点)	20			
	安芸郡熊野町 (1地点)	20			
	安芸郡坂町 (1地点)	20			
	山県郡安芸太田町 (1地点)	20			
	山県郡北広島町 (1地点)	20			
	豊田郡大崎上島町 (1地点)	20	計 (20地点)	400	
	計 (50地点)	1,000	合計 (100地点)	2,000	

※ 調査票配布時点(平成20年7月)の市町

対象者の属性

区 分		全 県		広島地方生活圏		備後地方生活圏		備北地方生活圏	
		実 数	比 率	実 数	比 率	実 数	比 率	実 数	比 率
全県		1,347	100.0	694	100.0	381	100.0	272	100.0
性 別	男性	701	52.0	355	51.2	190	49.9	156	57.4
	女性	646	48.0	339	48.8	191	50.1	116	42.6
年 代 別	20～29歳	126	9.4	73	10.5	34	8.9	19	7.0
	30～39歳	212	15.7	127	18.3	49	12.9	36	13.2
	40～49歳	240	17.8	134	19.3	72	18.9	34	12.5
	50～59歳	323	24.0	142	20.5	99	26.0	82	30.1
	60～69歳	275	20.4	131	18.9	83	21.8	61	22.4
	70歳以上	171	12.7	87	12.5	44	11.5	40	14.7
性 ・ 年 代 別	男性 20～29歳	65	4.8	43	6.2	14	3.7	8	2.9
	30～39歳	99	7.3	58	8.4	24	6.3	17	6.3
	40～49歳	129	9.6	70	10.1	39	10.2	20	7.4
	50～59歳	168	12.5	69	9.9	49	12.9	50	18.4
	60～69歳	151	11.2	68	9.8	43	11.3	40	14.7
	70歳以上	89	6.6	47	6.8	21	5.5	21	7.7
	女性 20～29歳	61	4.5	30	4.3	20	5.2	11	4.0
	30～39歳	113	8.4	69	9.9	25	6.6	19	7.0
	40～49歳	111	8.2	64	9.2	33	8.7	14	5.1
	50～59歳	155	11.5	73	10.5	50	13.1	32	11.8
	60～69歳	124	9.2	63	9.1	40	10.5	21	7.7
	70歳以上	82	6.1	40	5.8	23	6.0	19	7.0
職 業 別	有業者(計)	877	65.1	429	61.8	249	65.4	199	73.2
	自営業主(農林水産業を含む)	128	9.5	45	6.5	32	8.4	51	18.8
	家族従業者	34	2.5	13	1.9	13	3.4	8	2.9
	会社などの役員	49	3.6	18	2.6	23	6.0	8	2.9
	正規の従業員・職員	455	33.8	247	35.6	122	32.0	86	31.6
	パート・アルバイト・派遣社員など	211	15.7	106	15.3	59	15.5	46	16.9
	無業者(計)	419	31.1	239	34.4	120	31.5	60	22.1
	主婦・主夫	210	15.6	131	18.9	58	15.2	21	7.7
	学生	18	1.3	15	2.2	3	0.8	0	0.0
	無職	191	14.2	93	13.4	59	15.5	39	14.3
	その他	51	3.8	26	3.7	12	3.1	13	4.8

報告書の見方

- 1 結果は、百分比で表示した。文中及び数表、グラフは小数第2位を四捨五入したため、合計が100.0%に過不足することがある。
- 2 回答者数は、各生活圏の抽出率の差を調整するため、備北地方生活圏の抽出率を基準として、次の方式によって算出した係数を回収数に乗じた加重数値としている。数表（附属資料）の属性別回答者数は、小数第1位を四捨五入したため、各合計が過不足することがある。

$$\text{広島地方生活圏の係数} \dots\dots\dots \frac{\text{備北の回収数 (272)}}{\text{備北の母集団数 (84,958)}} \times \frac{\text{広島之母集団数 (1,589,323)}}{\text{広島の回収数 (694)}} = 7.33$$

$$\text{備後地方生活圏の係数} \dots\dots\dots \frac{\text{備北の回収数 (272)}}{\text{備北の母集団数 (84,958)}} \times \frac{\text{備後之母集団数 (647,498)}}{\text{備後の回収数 (381)}} = 5.44$$

$$\text{備北地方生活圏の係数} \dots\dots\dots 1.00$$

- 3 質問文の末尾に (M. A.) とあるのは、Multiple Answer の略で、回答者に2つ以上の回答を認めた質問であることを表している。